



JARL
OSHIMA-HIYAMA
Branch NEWS

JARL渡島檜山支部報 No.51



昨年の講演の様子 (JH8NHC 星さん)



第47回 JARL渡島檜山支部大会 大中山コモン 令和4年11月26日

昨年の集合写真 (2022年11月26日 大中山コモン)

2023年 渡島檜山支部 「ハムの集い」 開催について

昨年はコロナ収束せずということで来場制限を行い、また悪天候の中29名にご参加頂きました。
今年は支部会員以外にも広くご参加頂きたく多くの方にお集まりいただける会場を確保しました。
会員のみならずアマチュア無線を楽しむ多くの皆さんのアイボールの場となれば幸いです。
ローカル各局お誘いあわせの上、是非足をお運びください。

日時・場所

日時：令和5年11月19日(日) 13時～
12時30分開場

場所：函館競輪場 (〒042-0944 函館市金堀町10番8号)
テレシアター (競輪場の2Fです)

※テレシアター内は飲食禁止です

※休憩室を4Fにご用意しています。飲食は休憩室をご利用ください。(12時から利用可能です)



ご挨拶



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
渡島檜山支部 支部長
JL8LGW 船水 明

日頃よりJARL渡島檜山支部の各種事業およびアマチュア無線の振興と発展についてご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。支部報の発行にあたり、多くの皆様にご寄稿いただきましたことを御礼申し上げます。

今回、全国選出理事と北海道選出社員の方々にもご寄稿のお願いをしたところ理事2名・社員3名の計5名の方からは是非にとご寄稿頂きました。残念ながら連絡が無かったり、対応可否の連絡自体も頂けない方もおりました。もしかすると私からの依頼の中で何か失礼があったのではと気になっているところですが、来年早々には選挙も控えているため会員の皆様に参考になればと思っています。特に支部会員の皆様にとっては全国選出理事候補者の選挙は日頃接点のない中で2年に一度の選挙投票において大変苦慮されていることと思います。今回支部報にて全国選出理事の皆様のコールサイン、名前などをご認識頂きまして身近な存在として感じて頂き、アマチュア無線に関する活動をJARLNEWSなどメディア情報によりご活躍の状況などを知って頂ければと存じます。

支部長就任からの1年半を振り返ってみると、事業縮小（FOXハンティングの中止）をしたことが残念でなりません。ARDF競技への入り口にもなり得るFOXハンティングは運営側と参加者が確保できる状況となりましたら再開したいと考えて参ります。

津軽海峡コンテストについては青森県支部槻木沢支部長が中止を提案され今年度開催が一時危ぶまれる状況となりましたが、JE7JGG佐藤監事にアドバイスを頂き渡島檜山支部主体となって規約整理を実施し無事開催することが出来ました。しかし今回の「ハムの集い」にて表彰できない状況となり入賞者の皆様には大変申し訳ございません。今一度両支部の担当者間で協議を行い早急に入賞者の皆様への賞状発送ができるよう対応して参ります。詳細は津軽海峡コンテストのページをご覧ください。

長年続いております「支部2mFMロールコール」は毎月第一土曜日20時から変わらず実施しています。これはJE8HLA伊藤支部長時代に始まったものです。10月は19局の参加がありました。今後も気軽に一声出して頂けるような運用を行って参ります。今後も支部会員の皆様をはじめ多くの関係者の皆様に支えられながら、執行部一同力を合わせて支部運営を行って参ります。

今年6月には初めて社員総会へ出席して参りました。そこで見たものは既に皆様ご承知の通り前会長の「逃亡劇」でした。混乱の中、急遽新会長に就任した森田会長を中心とした新体制が始まりました。新体制発足後は森田会長の主導の下、新しいJARLとして山積みとなっている問題解決に向けて動き出しています。理事会には明確な方向性を示して頂き、私たち一人一人がアマチュア無線を今後も楽しんで行けるように一部分にとらわれることなく広い視野を持ち社員として協力して参ります。また北海道3理事には問題解決の中心的役割を是非担って頂き、北海道の会員の期待に応えて頂ければと思います。

さて、北海道8支部体制は令和6年4月に50周年を迎えます。

会員数減少、役員の高齢化など、北海道8支部の直面している問題は深刻度が高まっています。社員総会でもとある地域（確か0エリア）の支部長から「会員200人そここの支部」に対して心配というか批判的な意見が出ていたことも事実です。認めたくない方も多いでしょうが北海道に限らず「支部再編」は今後避けては通れないものとなるでしょう。今後は『隣接支部』と協力し連携した事業も検討していきます。私は「支部再編」を見届ける覚悟でこの職から逃げることなく職務を全うする所存です。

今回名称を「ハムの集い」にあらため、多少大げさな表現ですが全国からご参加頂きたいとの思いで準備を進めて参りました。この「ハムの集い」が皆様の親交を深める良い機会になることを願います。昨年出来なかった前日の懇親会も開催することが出来たことを大変嬉しく思っています。

最後になりますが、渡島檜山支部報の発行にあたり原稿、短信をお寄せいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも、渡島檜山支部の事業への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

目次

1	表紙
2	ハムの集いについて
3	支部長ご挨拶
4	目次
5~14	祝辞・お祝いのメッセージ
15	ガイダンス局運用報告
16~17	特別局運用報告
18	令和5年度支部運営体制
19	令和5年度事業
20~25	特集
26~27	短信
28	前夜祭参加者一覧
29~30	コンテスト結果一覧
31	ハムショップご紹介
32	お知らせ・編集後記

会長交代に思う



一般社団法人日本アマチュア無線連盟 副会長

JA8ATG 原 恒夫

渡島檜山支部会員の皆様には、ご活躍のこととお喜び申し上げます。長期に渡り渡島檜山支部に籍をおき、支部の会員の皆様には大変お世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。JARL役員選挙におきましては、地方本部長（理事）初当選から20年間の長期に渡り応援いただきましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、この度の任期途中での会長交代について、事情を報告させていただきます。ご承知のように前高尾会長には、足繁く全国の支部を回り、会員の皆様と親しく交流され、会員の皆様の意見を積極的に伺い、JARLの事業に反映して来られていました。

活発な活動をされ、支部役員の皆様とは、会食をする中で、様々なJARLの活動に対する意見をいただいております。懇親会での会計は参加者が割り勘で平等に負担しております。私も高尾会長の行動を高く評価し、会長選出の理事会での選挙では、推薦者となっております。

しかし、最近のJARLの会計帳簿の開示請求により、高尾会長が支部役員の皆様との懇親会等での支払済みの領収書をJARL事務局に提出し、支出を受けていたことが判明しました。その請求回数と請求金額は多く、理事会としては、故意による犯罪にあたと判断し、解職を決議した次第です。

高尾会長を長年支持応援した来た私としては、誠に残念ではありますが、渡島檜山支部の会員の皆様に報告させていただきます。

ご 挨拶



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
北海道地方本部長 正 村 琢 磨
(JH8HLU)

渡島檜山支部ハムの集いが開催されますこと心よりお喜び申し上げます。準備にあたって頂きました船水支部長様をはじめ支部役員の皆様には感謝申し上げます。また、会員の皆様には特別局の運用や地方本部の事業に際して、日頃からご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、本年は北海道に8支部が発足して50年目の年です。北海道地方本部では今年度を50周年として、各種記念事業を行ってまいりました。

広大な土地面積と冬季間における厳しい自然条件を有する北海道においては、他の地域のように1県1支部体制では活動に支障をきたします。そこで、OM諸氏の働きかけによって、当時の理事会で8支部体制が認められ今日にいたっております。

おかげをもってこの50年、それぞれの支部で地域の特色ある活動を展開することができました。8支部体制をお認めいただきました当時の理事の皆様と会員の皆様に深く感謝いたします。

また、アマチュア無線界においては、社会や経済におけるデジタル変革の進展にともない、ワイヤレス人材を育成することが社会的な課題となる中で、アマチュア無線をきっかけとした人材の育成が求められています。そのためアマチュア無線の体験運用の機会が拡大され、免許制度についても簡素合理化されるなどの制度改革が行われることで、人材育成のための環境が整えられました。

北海道地方本部としましてもこのような状況をアマチュア無線界発展の推進力と捉えて各種事業を展開するとともに、社会の要請に応えられるよう尽力してまいります。会員の皆様におかれましてもぜひご支援いただきますようお願いいたします。

結びになりますが、渡島檜山支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

2023渡島檜山支部大会「ハムの集い」について（お祝い）



一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
理事 JG2GFX 種村 一郎

晩秋の候、この佳き日に多くのご来賓とご来場者をお迎えして、2023渡島檜山支部大会「ハムの集い」が、昨年に続きここ函館市テレシアターにおいて盛大に開催をされ誠にありがとうございます。

支部大会式典をはじめ、コンテスト表彰、講演会など名実ともに充実した2023渡島檜山支部「ハムの集い」の盛会を心からお喜び申し上げます。

私は、JARL全国選出理事 JG2GFX種村でございます。今般、船水支部長から「ハムの集い」のご案内を頂戴いたしましたので、本来ならお伺いをすべきところですが、所用のため皆様にお会いすることは叶いませんので、ご来場の皆様におかれましては、今日一日この「ハムの集い」を大いに楽しみ、友好の輪を広げて頂きますようお願い申し上げます。

さて、皆様ご存知の通り、6月の第12回社員総会に先立ち開催された第66回理事会において、JA5SUD 森田耕司氏が新会長に選任され、「積極的な各種活動と情報発信」及び「組織運営の透明化」との方針のもと、新体制で理事一丸となり動き出し間もなく半年を迎えます。既にご承知の通り、8月に開催された「ハムフェア-2023」には43,000名もの皆さまにご来場いただき、新たな息吹を感じられた方も多いのではと考えています。

とは言え、最大の懸案事項であるQSL遅着問題については、臨時で開催された第68回理事会において「QSL問題対策委員会」を発足させ、更に転送作業の一部外部委託の提案についての協議をもしましたが、費用対効果や根本解決に至らないことなど更に検討が必要として、引き続き協議して参ります。

またこのたび、森田会長がQSLカード転送遅延の解消のための「発行枚数の見直し」を会員の皆様をお願いを致しております。併せて、ご理解を賜りますようお願い致します。なお、皆さまのご意見等を是非メール等でお聞かせ頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

本大会の開催にあたり、渡島檜山支部長 船水 明氏、支部運営委員の皆様はじめ、ご支援・ご協力頂いた関係各位に衷心から厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

ハムの集いによせて



一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
理事 JH3GXF 安孫子 達

渡島檜山支部大会のご盛會を心よりお喜び申し上げます。また、北海道8支部発足50周年誠にありがとうございます。また、戦前、戦後を通して日本のアマチュア無線の活動が脈々と受け続けられ日本の科学技術の発展に寄与していることを嬉しく思います。これも会員の皆様のご支援とご理解、諸先輩方の努力の賜物と思い感謝しております。

私がアマチュア無線に興味を持ったのは中学生の頃に友人のすすめで興味を持ち、1970年大阪万博の年に開局いたしました。当時は参考書もなくご近所のアンテナを見つけてはお邪魔しては教えるを乞うことしか出来ませんでした。皆さん見ず知らずの少年にたいして快くアマチュア無線の醍醐味を教えてくださいました。

開局してからは地元の地域クラブの活動でコンテストや移動の楽しさを体験してますます無線に傾倒して行きましたがそのクラブで支部大会のお世話をしたことがJARLの活動に参加したきっかけでした。その後1995年の阪神淡路大震災で救援ボランティア活動での実績などから支部長に推薦され3期6年支部運営を経験させていただきました。また、関西地方本部でのjarl.com立ち上げやQSOBankの立ち上げ参加した経験からアマチュア無線でインターネット利用が非常に有用であるとの思いを持ち第20回JARL理事会で電子QSLを提案いたしました。皆さまもご存じのように前会長の消極的な運営によって長年停滞しておりました。今となっては少し遅くなった感がありますが近年のQSL転送の遅れ解消に役立てればと新たに「QSL問題対策委員会」を理事会に提案し了承されました。今後はQSL転送の効率化、会費に対しての転送費用の公平性の追及、電子QSLを核に新しい転送システムの構築などを検討してまいります。その他にもまだまだJARLにとって様々な問題を解決しなければなりません。新会長のもと私も頑張りたいと思いますので今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝と充実したハムライフのご発展をお祈り申し上げます。

青函交流の思い出



一般社団法人日本アマチュア無線連盟 監事
JE7JGG 佐藤 眸

JARL渡島桧山支部会・ハムの集いの開催おめでとうございます。平成10年6月にJARL青森県支部長に就任して、東京で「支部長連絡会」に初めて参加した折、JA8MEM上田支部長から青函の交流のお誘いをいただきました。前任のJA7NL菊池支部長に以前からアプローチをしていましたが良い返事が返って来ないと。上田さんの笑顔に誘われ、会計幹事のJH7QQJ鈴木さんと上磯町（現：北斗市公民館）公民館に行ったのが最初でした。その翌年、上田支部長と会計幹事のお二人が青森市に来てくれました。

その後、毎年お互いの支部大会に招待し合い交流が行われました。いつ言われたか記憶が定かではありませんが、上田さんからコンテストをやろうと提案があり「津軽海峡コンテスト」の始まりです。上田さんには大変お世話になりました。

平成16年5月に全国で初めてエリアを超えたコンテストでした。規約作り、そのうえトロフィーまで用意してもらい恐縮したのを覚えております。最初の数年は会員数が半分の渡島桧山支部に負け続け、青森県支部の会員に「頑張らなければ・・・」の闘志に火が付いた感じでした。

私の支部長時代でもJA8IOT村井支部長、JA8CZR能登支部長、JE8HLA伊藤支部長と4人の支部長とお付き合いいただきました。その後、JH8CBH佐々木支部長、JL8LGW船水支部長、青森県の支部長も私の後、JR7GBL平川支部長、JH7DXJ安斎支部長、JR7JAW槻木沢支部長と続いております。

この数年コロナウイルスの影響でお互いに交流出来ない次期がありましたが、今後とも末永い交流を期待しております。私は支部長時代から欠かさず渡島桧山支部大会に参加してきました。行くたびに、渡島桧山支部会員の暖かいお持て成しをいただいたことに感謝しております。

特に深く印象にあるのが、平成12年の第42回JARL通常総会「はこだて総会」と、平成19年の第34回JARL渡島桧山支部大会前夜祭「韓国ハム・青函ハム交流の集い」です。渡島桧山支部会員の行動力・熱意に圧倒され、良い意味の勇気と激励をいただきました。特に韓国KARLメンバーとは青森市での「10M・FM全国大会」、東京での「ハムフェア」で数人とお会いしています。日本と韓国の政治的には良くない時期でしたが、笑顔で再会を喜んでもらいました。函館市での宴会に話が弾み、HAM仲間良かったと思えました。JL8LGW船水支部長とは「青函博覧会EXPO88」以来の付き合いです。船水さんがまだ高校生・・・。

青森市のJG7KZX市川さんも高校生。お互いに青森市の「八甲田丸」、函館市の「摩周丸」を見学し合い友人になりました。私も「八甲田丸」に72日間詰めました。懐かしい思い出です。最後にJARLは地方本部、支部、そして会員に支えられています。支部もまた会員に支えられています。

渡島桧山支部会員の良きハムライフをご祈念申し上げます。

JARLのチカラ



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
参与・関東地方本部選出社員
7K1BIB 山内貴博

渡島檜山支部「ハムの集い」開催、そして、「北海道8支部発足50周年」おめでとうございます。私は理事ではなく参与なのですが、船水支部長のお取りはからいでこの文章を書かせて頂きました。貴重な機会をありがとうございます。

さて、皆さまご存じのとおり、本年6月の定時社員総会直前に、前会長・JG1KTC高尾義則氏が突如としてJARL執行部を去り、新たにJA5SUD森田耕司氏が会長に就任されました。この体制変更の背景には、JA8ATG原恒夫副会長、JA8DKJ三井武理事、JH8HLU正村琢磨北海道地方本部長のご英断がありました。心から敬意を表します。

私は、ここ数年、高尾前会長を頂点とする執行部によるJARL運営の問題点を、社員総会やブログ、Twitter等で指摘して参りました。前会長の最大の問題は、会員を「味方」と「敵」に分けて分断を引き起こし、JARLとアマチュア無線界をよくしたいと協力を申し出ている人を排除し、JARLの発展を阻害してきたことにあります。その高尾氏は、会長就任7年目にしてようやくJARLの執行部から去りました。ですが、これで自動的にJARLがよくなるわけではありません。改革の出発点に立ったということではないと思います。

会長が解職されるという、JARL史上初、前代未聞の危機にあって、火中の栗を拾われた森田新会長には、一会員として心からの感謝しかありません。森田さんは誠実で信用できる方であり、会長就任後、JARLが抱える数多くの問題に丁寧に取り組み、文字どおり休みなく、毎週のように東奔西走されています。森田新会長のもと、理事・社員だけでなく、アマチュア無線家みなが一丸となって、無線趣味の世界が少しでも良くなるよう、ひとりひとりの力を合わせる必要があります。

何も、難しいことではありません。「私なんて、本部や地方組織の役職なんかできないよ」と思っているらっしゃいませんか？役職に就かなくても、友だちを誘って行事に参加するとか、ひとりである人に声をかけるとか、役職の方に「いつもありがとう」とお礼をいうとか、ちょっとしたものを運ぶのを手伝うとか、そういう小さな積み重ねが、JARLを支え、JARLのチカラになっていきます。「バンド内がすいている」「出てる人が少ない」と思ったことはありませんか？アマチュア無線は、CQを出す人がいないと成り立たない趣味です。CQを出すことも、お空を活性化し、アマチュア無線界が前進する力になるのです。

約30年前に札幌に住んでいた私にとって、北海道は第二の故郷、懐かしい思い出の宝庫です。9月の第7回北海道ハムフェアにお邪魔し、札幌の再訪は実現できたのですが、道南地区にはとてもご無沙汰しています。今回は残念ながら参加ができませんでしたが、いつか貴支部を再訪し、透き通った「イカ刺し」を堪能するのが夢です。

祝 辞



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
北海道地区選出社員
JH8MYB 原田 進

JARL渡島檜山支部大会開催おめでとうございます。

皆様もご存じのことと思いますが、高尾義則会長解職によりJA5SUD森田耕司氏が会長に就任いたしました。

前会長は経理関係書類等の閲覧の求めに応じず、裁判で「閲覧させること」との判決が出、支出費用の内容を精査したところ多額の不明朗な支出が判明いたしました。又、会計処理についても問題があることが判明いたしました。

森田会長は経理関係にも明るく早速改革に取り組んでいくとの決意をお聞きいたしました。長年の赤字予算が本格的に見直され健全財政に向かうものと期待をしております。

定款で会員の権利として、機関誌の配布・交信証及び受信証(QSLカード)の転送・JARLの主催事業に参加できる当明示していますが、コロナウイルス禍によりQSLカードの転送に大幅な遅れが出ています。新たに会員になっても1年間に一度もQSLカードが届かない現状です。この問題についても先の北海道ハムフェアで森田会長にお話をしたところカード転送遅延対策に取り組んでいるとのお話がありました、早期に改善されることを期待したいと思います。

さて、本年度は北海道にJARL支部が発足して50周年を迎えました、各県1支部の中、北海道8支部を作り支部の運営や8支部連帯して事業を行ってきたOMに感謝申し上げます。

本日の支部大会開催に尽力された船水支部長はじめ役員各位のご労苦に感謝申し上げますとともに渡島檜山支部の益々の発展・お活躍と、御出席会員皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

祝 辞



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
北海道地区選出社員
JE8JSX 坂森 勉

漸く今年からコロナから緩和されて従来の活動に入られている交流が図られて来ています。

コロナ禍から約4年を経過するかと思いますが、今年は再延期されていましたが第7回北海道ハムフェアが新しくなりました会場、デ・アウネさっぽろにて9月23日～24日の日程で良い天気恵まれ久方ぶりに賑わっていました。

それと共に、北海道8支部においても本格的に活動されているようですが。

コロナが下火になってきたところ、今年は早々とインフルエンザが流行してきているところですよ。

又今年は気候変動で北海道でも暑い日が続いていましたがこの時期になるとさすがに涼しくなり、旭岳の頂上付近は雪で白くなっています。

私事ですが、さて本来なら各支部に出席し皆さんとの交流をしなければならないところですが、平日はいまだに中富良野町勤務し、週末には音更町、帯広市にて亡き兄の仕事を手伝っているところで中々各支部に出席が出来ない状態で各支部、局長には大変ご迷惑をお掛けしています。

機会があれば皆さんとお会いし、意見等の交換が出来れば幸いです。

支部大会の開催をお喜び申し上げます。

これから寒くなりますので体調維持管理し、過ごされて下さい。

将来に向かって



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
北海道地方本部選出社員
JE8KQR 大國 秀夫

渡島桧山支部管内会員の皆様には、ご活躍の事とお慶び申し上げます。日頃はJARLの各種事業・活動にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、JARL北海道支部が昭和49年4月より、現在の8支部体制となり50年目の節目を迎えますが、この先の将来に向かって考えていきたいと思えます。

平成6年の正会員数168,914人をピークに会員減少が始まり今年7月現在の正会員数は53,049人です

(北海道 平成6年：11,627人 令和5年7月：2,451人)

平成7年より会費が4,800円から7,200円に改定され現在に至りますが現在に至るまで、連続27年間赤字決算の組織です。

赤字予算を編成し、決算を終えてみると当初(予算)よりも赤字が拡大しているのが現状であり、その原因を分析し、改善する事をしないまま今に至ります。

アマチュア無線は趣味ですが、JARLは一般社団法人という法人組織ですし日々働いてくれている20人余りのスタッフの生活を守る責任もありますから、責任感のない組織運営は許されるものではありません。

アマチュア無線を末永く楽しむためには、利益団体であるJARLを存続させる事が大切だと思います。

これまで続けてきた事業を徹底して見直し、方針転換(修正)をしなければJARLの将来はありません。これがJARLを改革する理由です。

具体的には、QSL転送(一部電子化)・JARLニュース(電子化など)理事の就任年齢引き下げ(就任の連続回数制限)・本部移転・支部再編・社員数の変更(就任年齢制限)など、痛みを伴う改革は避けて通れないと思っています。

そしてJARL改革の1丁目1番地は、本当に「JARLを良くしたい」と志を持った人達が理事や社員として旗振り役を務める事であり「会員の会員による会員のための組織運営」を早期に形成する事ではないでしょうか？

是非、渡島桧山支部の会員皆様が知恵と工夫を出し合って支部運営に参画して欲しいと願っています。

祝 辞



一般社団法人日本アマチュア無線連盟
石狩後志支部 支部長
JK8CFM 岡田 壮弘

渡島檜山支部ハムの集いの開催、誠にありがとうございます。

コロナ禍による一連の行事の自粛から、やっと回復基調になってまいりました。この流れに乗って、アマチュア無線界でも、新しく始められた方や、久しぶりに復活された方まで、幅広く交流の場を作っていく必要があると強く感じます。

そのためには、普段のQSOだけではなく、せっかくの同じ趣味の仲間でありますので、このようなハムの集いで、お互いの顔を見て、アイボールすることはとても意義深いと思います。

当、石狩後志支部でも昨年度から30年ぶりに、さっぽろ雪まつり会場での公開運用を再開し、賑わいを作ることに注力しています。

改善点も多々…まだまだ模索は続きますが、ハム人口を増やしていくためには、「今まで通り」を続けるだけではなく、「やってみる、走りながら考える」を実践していくしかないと思います。

北海道の各支部が発足して50年という節目です。今回の皆様のハムの集いが大いに盛り上がって、渡島檜山の皆さんからコロナ熱ではなく無線の熱を全国に拡げていただきたいと心から願っております。大盛会になりますように！

ガイダンス局の運用について

令和5年11月19日

日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部
監査指導委員長 佐藤 佑介

1 運用期間

令和5年7月21日から令和5年9月13日まで

2 運用周波数

144MHz帯および430MHz帯

3 運用実績

430MHz帯 13回

4 運用結果

本年の運用については、コールサインを送出しない局に対する指導のみで、ガイダンスを送出後にコールサインを送出する局は8割くらい、後の2割はそのまま停波する局、数局は文句を言いながらそのままコールサインの送出不かったため、何度もガイダンス局による指導を実施しています。

5 反省及び来年への展望

本年の運用については、その対象はほとんどがコールサインの不送出局であり、コールサインの不送出局へのガイダンス局運用については、数分に渡り交信を聴取した後に行わなくてはならず、時間的にも非効率で、多くの運用を行うことが出来なかった。

一つの周波数を独占使用していると思われる局についても、大半が従免・局免を所持していると思われ、業務まがいの使用であっても、明らかに業務と特定できるような交信は行わない、いわゆる脱法行為の局がほとんどで、ガイダンス局の効果が限定的であると見受けられる残念な一面も感じた。

また、運用者の時間的な制約から、運用日程が限られたものとなってしまったことも一つの反省点として、フレキシブルな運用を行うためにも、運用出来る方を増やすことも一つの方法かと思いました。

ガイダンス局については、アマチュア無線技士の資格のみでは運用することができず、特殊無線技士の資格が必要となりますが、特殊無線技士の資格については、アマチュア無線技士の資格と同程度の難易度ですので、ガイダンス局の運用に興味がある方は、是非取得を検討されてみてはいかがでしょうか。

令和5年11月19日

日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部
特別局担当 佐藤 佑介

渡島檜山支部における特別局運用結果について

記

1 運用局

- ・ 第7回北海道ハムフェア特別記念局
8 J 8 H A M
- ・ 北海道地方本部8支部発足50周年記念特別局
8 J 8 8 R L

2 運用期間

- ・ 8 J 8 H A M 令和5年5月18日から
5月29日まで
- ・ 8 J 8 8 R L 令和5年7月17日から
7月25日まで

3 運用結果

- ・ 8 J 8 H A M 742局
- ・ 8 J 8 8 R L 593局
(詳細は別添資料参照)

4 特別局運用の反省と今後について

本年の当支部における特別局の運用については、前期のとおり、北海道ハムフェア特別記念局と8支部発足50周年記念特別局の2局で、合計1335局との交信をしております。

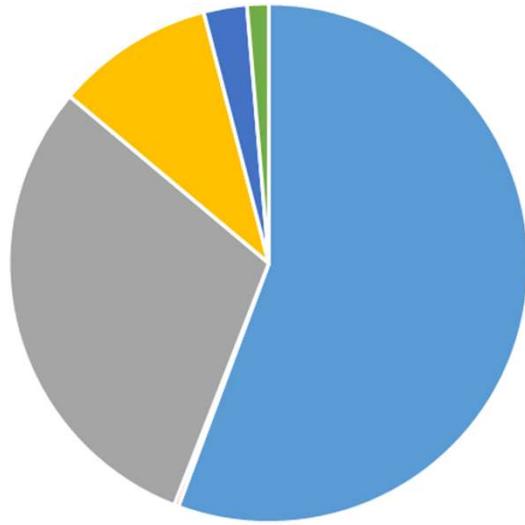
運用について、支部ホームページやメーリングリストにより運用希望者を募りましたが、希望者が少なく、運用者の確保が困難な状況となっていました。

来年からは、特別局の運用に関して、運用可能な方にあらかじめ登録をお願いし、特別局の運用が決まり次第通知し、速やかな運用者の確保が出来るよう考えております。詳細についてきましては決定次第お知らせしますので、特別局の運用について今後もご協力のほどよろしくお願いいたします。

運用の詳細 (8J88RL) ←

周波数 ←	7MHz ←	14MHz ←	21MHz ←	28MHz ←	144MHz ←	430MHz ←	合計 ←
交信局数 ←	413 ←	2 ←	224 ←	73 ←	20 ←	10 ←	742 ←

バンド別の交信状況 (割合)

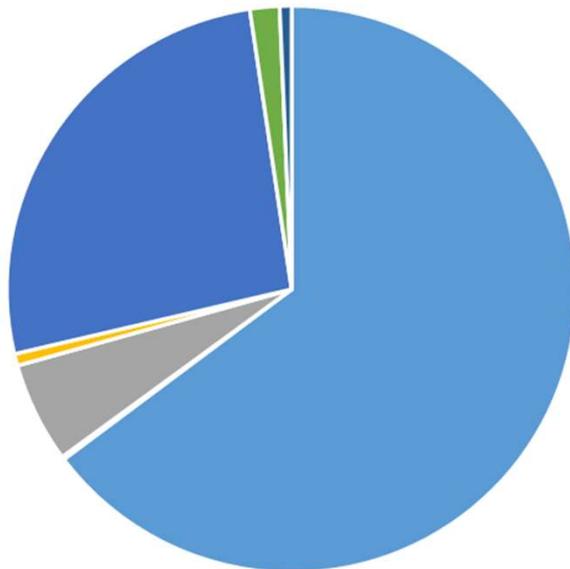


7MHz 55.7%
 14MHz 0.3%
 21MHz 30.2%
 28MHz 9.8%
 144MHz 2.7%
 430MHz 1.3%

運用の詳細 (8J8HAM) ←

周波数 ←	7MHz ←	14MHz ←	21MHz ←	24MHz ←	28MHz ←	144MHz ←	430MHz ←	合計 ←
交信局数 ←	384 ←	1 ←	34 ←	4 ←	156 ←	10 ←	4 ←	593 ←

バンド別の交信状況 (割合)



7MHz 64.7%
 14MHz 0.2%
 21MHz 5.7%
 24MHz 0.7%
 28MHz 26.3%
 144MHz 1.7%
 430MHz 0.7%

令和5年度支部役員

役割	コールサイン	氏名	QTH
支部長	JL8LGW	船水 明	函館市
総務全般 特別局担当 監査指導委員長	JK8JZQ	佐藤 佑介	函館市
IT担当 支部報担当	JM8DYK	村上 慎吾	知内町

サポーター

支部からサポーターを依頼しております。担当分野についてお気軽にご相談頂けます。

主な担当分野	コールサイン	氏名	QTH
無線局変更申請 (OLDリグの 追加登録)	JA8DHR	甲谷 巖	函館市
アローラインご相談			
ハムログ、DXCC	JA8FHM	佐藤 正市	函館市
1. 2GHz帯	JH8NHC	星 雅一	函館市
F T 8 ご相談	JM8CNE	四宮 奨	函館市

令和5年度 支部事業		
4月15日	役員会	終了しました
5月13日～14日	第21回 津軽海峡コンテスト（～5月14日まで） 13日（土）18：00～14日（日）15：00まで	・1200MHz部門追加
6月18日	非常通信伝達訓練	終了しました（参加10局）
7月10日	役員会	終了しました
	2023青少年のための科学の祭典への参加	2023年中止決定
9月1日～3日	第31回渡島檜山支部48時間コンテスト 1日（金）18：00～3日（日）18：00～まで	終了しました
10月7日	支部報原稿募集開始	
10月15日	役員会	終了しました
11月18日	渡島檜山支部 懇親会 （ハムの集い前夜祭）	函館市
11月19日	渡島檜山支部 ハムの集い	函館市
1月14日	役員会	

令和5年度その他の事業		
5月18日～31日	北海道地方本部8支部発足50周年記念特別局運用	運用は終了しました。
6月25日	社員総会【支部長出席】	終了しました
7月15日	電波教室 ※2石トランジスターラジオ製作体験あり 主催：北海道電波適正利用推進員協議会 指導員：渡島檜山管内のアマチュア無線家有志	終了しました
7月17日～26日	北海道ハムフェア特別局運用	運用は終了しました。
日程未定	アマチュア無線に関する講座	【テーマ、講師募集中】
毎月第1土曜日	支部ロールコール 20時～145MHz帯	コンテスト等と重なる場合は役員判断で日程変更あり

JARL全日本10,000局賞を受賞して

JE8NTJ 渡邊敏夫

私は昭和61年札幌でアマチュア無線局を開局しました。

社宅やマンション暮らしで、いわゆるアパマンハムとしてCWを中心に楽しんで来ました。先輩から譲り受けたTS950SD にモバイルホイップというのが長く続き、10年前に七飯町に越して来てからロングワイヤを張り、ようやくローバンドもストレスなくQRV出来る様になりました。



(似顔絵)

私がこの賞に興味を持ったのは、CQ誌やJARLニュースでよみうりアワードの表彰式の写真を見たり、受賞記念のQSLカードを頂いたりしたことがきっかけでした。

当初はOMさんにしか出来ないこととと思っていましたが、QSLカードが二万枚を超えた頃から、もしかしたら私にも・・・と考えたのが始まりでした。

当初はよみうりアワードを考えましたが2020年度末で締め切られたので、継承したJARLアワードに取り組み、条件変更もありラッキーでした。というのも、交信地点は申請エリア内から日本国内の陸上と変更になったことで、東京在住時や旅行先での交信時のQSLカードもOKとなったからです。

申請要件を簡単に紹介しますと、一万局と交信し、エリア毎の交信局数は最低500、最高1500局という条件と、シングルバンドでWAJA(47都道府県と交信して得る)を12完成させるというものです。

私はQSLカードを受け取るたびにエクセルでDBに投入し、ログ帳と突合の上ハムログに投入するという管理方法なので、まずはハムログアウトから使用可能な局一覧を作成しました。2020年度末で9,145局という局数、なかでも元々アマチュア無線局の少ない9、0、5エリアの500局確保が難しく随分苦労しました。(この時の9エリア交信局数387)そのため、これらエリアのコンテストには毎回参加し、初交信の局にはSASEでカードの発行をお願いしました。その数は百を超えたかも？

(笑)。SASEを送るのにも苦労しました。JARL会員局名録に住所のない局は、QRZ.COMやインターネットで調べ、最後は開局当時購入した88年アマチュア無線局名録まで総動員でした。

最後まで難儀したのが9エリアで、SASEが戻り500を超えた時の感激は今も忘れません。

近所のOM、Mさんと支部長さんにカード所持証明をして頂き、ようやく賞と副賞を頂くことが出来ました。

支部長さんには「大切なカードなので私が伺います」と七飯町まで来て下さり、熱心に審査して頂きました。なかでも以前に携わった記念局のカードを懐かしそうにご覧になっていたのが印象的でした。聞けば我が家の横の道は中学生の頃の通学路だったとか、これも何かのご縁ですね。

今後は現有所持のAJA8,500をどこまで伸ばせるか、ゆっくりハムライフをエンジョイしていきたいと考えております。

HPE CUL 73 & 88



忘れ去られた段ボール



JM8TSS 鹿島勇一

1983年に開局、以前はJR8VEZで運用しておりました。ここ数年間は全く運用しておらず、局免はそのまま失効。正直なところ「無線は時代遅れ。もうやることはない」と思っておりました。家族からは「邪魔だから処分して」と言われてたので、機器やアンテナの整理をしていました。

片付けを進めていくと、押し入れの奥の方から古めいた段ボールが出てきました。ずっと忘れ去られていた物です。当時の新聞に包まれた何かを1つずつ開いていきました。そこには学生時代に無線仲間から譲り受けた30-40年前の無線機やマイク、電鍵が入っていました。若くして他界された先輩が使っていた物も見つかり、亡き故人に再び会えたような気持ちになりました。

整理する手を止め、付いていた埃を払い、電鍵に手をかけてみました。カタカタと小気味良い音が聞こえます。「TRIO」と書かれたマイクを握ってみました。使えそうですが、現代のデザインとかけ離れた不恰好さは、アンティーク扱いだと思いました。

「こんな物を使っていたんだな」と独り言を話しながら、あれこれ触っているうちに、南極昭和基地との交信や、自作リグでfズレしながらCWを打つソビエト局、珍カントリーを1時間以上呼び続けたこと、そしてハム仲間との毎晩のラグチュー等、当時の楽しさと懐かしさが脳裏に甦って来ました。

記憶が更に記憶を呼び戻し、当時の出来事が次々と回想されて止みません。「あの頃、よく話をしていた人たちはどうしてるだろう」布団に入った後も考えていたら、いつの間にか朝方になっていました。

目が覚めると「また無線に夢中になるのも面白いな」と心変わりしており、その時点で処分をする気持ちはすっかり消え失せていました。

気持ちを新たに、新規にコールを申請。開局してバンド内をワッチしていると、聞きなれない言葉を耳にします。「FT8」「C4FM」は知らないワード。そしてQSLカードはメールで送れることを知りました。

恐る恐るCQを出してみると、以前によく話していた局から声がかかります。40年近くぶりに呼んで下さった方もいました。コールサインが変わっても、当時の自分との交信を覚えてくれていたことに歓喜しました。

新しい事への挑戦意欲も湧いてきました。時代の波に乗り遅れている自分に対して、船水支部長や旧知の無線仲間から、最近のハム事情のレクチャー受け、ひとまず理解する事ができました。

「楽しさも有るけど面白そうだな」と思えるようになりました。

これからは、移動運用もラグチューも、そして新しいモードも楽しんでいきたいです。アマチュア無線で最大に面白いと思う部分は、偶発的に人と出会える事。年齢や職業に関係なく、さまざま土地に住む人たちとコンタクトできます。色々な考え方も、個性があっても良しです。国も文化も言葉も異なる人々との交信は、身近に多様性を感じる趣味でもあります。だから無線はやめられない。聴くだけではもったいなので、自分からCQを発信し、未だ出会ってない方々との交信を楽しもうと思います。

～忘れ去られていた段ボールは、ただの忘れ物ではなく、宝物となりました。その思い出が詰まった箱を開けることで、今現在の楽しさも感じるようになりました。当時の無線仲間との絆を思い出し、もっと繋がりたいという思いが湧き上がってきます。懐かしさと今現在の楽しさ、さらには未来への期待が詰まった「大切な段ボール」でした～

皆さん、これからも宜しくお願いします。
夜分遅く430MHzでのCQ、失礼致します。

最初は外国との交信、さらに六大大陸との交信そしてCQzone(*1)の40を制覇。そんなことを考えているうちにはまったのがDXCC(*2)でした。

まずは100エンティティ(昔はカントリーと呼んだ)をQSOしてDXCC(DX CENTURY CLUB)メンバーになることから始まり日夜DX局を追いかけることになりました。

しかし長いことやっているとはとなくできるもので、そのうちに世界の全エンティティとのQSOを考えるものです。



参考画像1

六大大陸 ヨーロッパ・アジア・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オーストラリア (南極やヨーロッパとアジアはユーラシア大陸と中学程度の地理では学ぶが、DXCCではこのように分ける)

(*1 CQzone 全世界を40の地域に分けて世界的コンテストなどに使用。日本は25)

(*2 DXCC ARRLの規定した100以上のエンティティとQSOしコンファームすることで入れる世界的なクラブ。)

函館にも世界の全エンティティとのQSOを完了した #1 HONOR ROLLと呼ばれるOMがおります。全エンティティなど当局には夢のまた夢ですが全エンティティまで残り9エンティティ以下になると認められる HONOR ROLLにはなることができました。(参考写真の記念盾を手に入れることができる) (参考画像2)



参考画像2

DXCC HONOR ROLL盾
※下部にコールサイン入り

ここまでやるとHFの全バンドでDXCCをなどにとんでもないことを考えるものです。

アンテナがあればソコソコできますが1.8Mhzと50Mhzはそうはいきません。1.8Mhzというと波長160m、簡単なダイポールアンテナでも片側40m全長80mになります。そんな長いアンテナを張ることができる環境はそうそうありません。

また、50Mhzはパワーを入れれば届くというものでもなく、そこそこの高利得アンテナが必要ですし何よりコンディションの見切りが大切とのOMからの助言で俄然火が付きました。

昨年の春に95エンティティまでコンファーム出来ていた50Mhzもその後は足踏み状態でしたが秋には99までになり50MhzDXCCもリーチとなりました。

ところが99エンティティをコンファームした翌々日、なんと100エンティティ目のQSOができました。

100エンティティ目の局はアルゼンチンの局(LU5FF 左下写真は該当局ロゴ)でした。

50MhzのDXCCも完成するとあっけないもので2週間後にはなんとさらにイースター島もできました。

年が変わりぽつりぽつりと増えて現在106エンティティになりました。

取り敢えず3.5Mhzから50MhzまでのDXCC完成で少し気が抜けていましたが、本日(注:2023/10/22) エンドーズメントを行い、これだけは特別と50MhzのDXCCを申請しました。

残るは84エンティティまでできた1.8Mhzで、あと16エンティティがこの蜘蛛の巣アンテナにかからないかなと思いつつフルパワーにするとストーブが消えるというトラブルにもめげず夜な夜な出沒しています。狙うは1.8Mhzから50Mhzまでの10バンドDXCC・・・こうなると趣味の王様もケモノ偏の王様(狂)です。

以上



参考画像3
LU5FF局ロゴ



参考画像4 LU5FF局 eQSLQ交信証
(7MHz交信時)

アマチュア無線の自作の楽しみ

JA8IRQ 福島 誠
(連絡先: ja8irq@qrp-ja.net
Tel 070-5612-7910)

私の場合、アマチュア無線の楽しみというのはほぼ工作の楽しみだったりする。下手の横好きで、しかも怠け者なので中学生時代からの目標である手作りのリグだけで交信するというのはなかなか実現していない。しかたなく市販の機械を使っているが、それでもアンテナや小物などはなるべく自分で作るようにしている。

アンテナチューナーは移動運用に必須
自作品で実用になっている物はZ-match tuner (図1、2)で、これはQRP用のチューナーとして移動運用時に使っている。

札幌のJH8LDW篠原さんが十数年前に配布していたケース付きのキットだが、平行フィーダでも使えるように回路を変更している。ポリバリコンを使っているので耐入力は5Wだが、FT-817ならちょうど良い。チューナーを使うと適当な長さの電線をアンテナに使うことができるのでそれも楽しい。



【図2】チューナーの内部

ポリバリコン2個とトロイダルコアに巻いたコイル、それにスイッチが主要部品である。SWRの最良箇所でLEDが消える。

実験用電源は電子工作の必需品

もう一つは実験用電源(図3)だ。ジャンク屋で買った電源装置に18Vのトランスを入れて電圧を可変できるようにしたうえで、デジタル表示の電圧電流計をつけた。1.5~14Vで500mAくらいの電流が取れるので、実験用には十分だ。12Vまでのバッテリーの充電にも使っている。その電池の容量をみて3000mAhだったら300mAを10時間くらい流すとだいたいOKなので専用の充電器がなくても使える。



【図1】Zマッチチューナーの外観



【図3】実験用可変電圧電源。
9.6V 3500mAhの電池を充電している。

充電電流は11.8Vで313mA。

今でも自作は面白い。

函館には部品屋さんがないので、電子工作を始めるには敷居が高いかもしれない。アマチュア無線用のキットメーカーも以前はミズホ通信（JA1AMH高田さん）やFCZ研究所（JH1FCZ大久保さん）があったが、今はなくなってしまった。しかし、その志を継いで個人でアマチュア無線のキットを開発し、ハムフェアで頒布しているアマチュアキットクリエイターズ（AKC）の皆さんたちもいるし、海外のキットの共同購入をやっているJR1KRA中島さんのような人もいる。インターネットを活用すれば、世界中からキットや部品が手に入るようになった。

キットなども自分の使い方に合わせて一工夫すると愛着が増す。自作の送信機もTSSなどで保証認定を通せば合法的に使うことができる。

電子工作を雑に作るということ



オライリー発行 ISBN:9784814400492
という本が出版された。

考えすぎずに、まずは手を動かして電子工作をやってみようという本で、函館でもイベントをやったギャル電さんも書いている。

「雑に作る」というコンセプトはとても面白いので、2024年1月8日（祝）の午後1時から私の勤務先の函館蔦屋書店で「電子工作・雑に作ろう」というイベントをやることにした。電子工作のファンはご自身が雑に作った（もちろん丁寧でも）作品を持って集まってほしい。

【補足】

（右のリンクは
Z-match tunerの
篠原さん解説）

<https://www.cyttec-kit.com/rakuda/Z-Match%20Tuner.pdf>



（AKCについては以下のページを参照）
<https://www.amateur-kit-creators.com/>

（FCZ誌の復刻が全公開されている）
http://momo.gmob.jp/fcz_ac1/
http://momo.gmob.jp/fcz_ac2/

10月には『雑に作る—電子工作で好きなものを作る近道集』

（石川 大樹、ギャル電、藤原 麻里菜 著

スーパー高校生現る!



石狩後志支部コンテストジュニア部門優勝の賞状を貰うJM8PDT澤田君

輝かしい澤田陵佑君の功績

2021	JM8PDT	石狩後志支部コンテスト 個人電信電話144部門優勝
2022	JM8PDT	石狩後志支部コンテスト 個人電信144MHz部門優勝
2022	JA8ZRH 札幌工業 高校AMC	全国高校生コンテスト シングルOP144部門2位
2023	JM8PDT	石狩後志支部ジュニア マルチバンド優勝
2023	JA8ZRH 札幌工業 高校AMC	全国高校生コンテスト シングルOP144部門優勝

「実は無線もそうなんです、一生の職業にしたのは、車なんです。父がS社のハイパワー四駆に乗っていたのがきっかけでした。自動車大学校を出て、1級整備士資格を取りたいと思っています。未来への期待がますます深まるばかりで、自分が情けなく思う。」

自分部屋には、古い真空管からソリッドステート機、CPU機まで各種勢ぞろい。コンテストについて聞いてみたところ、「よく飛ぶバンドで遠距離交信を狙うのも無線の醍醐味だと思っちゃレンジしています!」

Phoneも好きですが、最近はCW交信の楽しさに気づき、よく電波を出しています。「いやはや、もう私の出る幕などございませぬ。」

彼の視線は、今、上級アマチュア資格に向けられている。努力を惜しまないその姿勢にエールを送ろう。

△澤田陵佑君・JM8PDT。石狩郡当別町生まれ。18歳。

札幌工業高校3年生。15歳で4アマ取得。JARRL会員V



左…澤田君の数々のコレクション

2020年も春の出来事であった。札幌の中学生で、とんでもない奴がいると情報をゲットしたのがそれくらい。の時期であった。免許を取り、開局し早3年。若年層コンテスト総ナメ、はまた無線機器の修理まで行うスーパー高校生が石狩郡当別町に居た!筆者は知り合って3年。2023年の石狩後志支部コンテストで優勝した際の表彰式に立ち会うことができたため話を伺うことにした。

「最近、修理依頼が来ることもあって、時間があるときはお受けしています。」

「こやかに近況を話してくれた。聞くところによるとCOM社IC706の電源リレーが故障し、メーカーが受付してくれなかったものを直したと言う。コンテストの成績も中々だが、技術の腕前も中々なものだ。」

「修理機材やアンテナやオンエアする場所を貸してくれた皆様には本当に感謝しています。函館局ともたまに話す事もあり、HFが当たり前にオンエアできるのは普通感覚になっすっかハイアマチュアの域だ。」

そんな澤田君の将来の夢は自動車整備士になることで、2024年度からは、4年制の自動車大学校へ進学が決まっている。



上：現在のシャック・機器一式

短信

—short message—

各局 いつもお世話になっております。
開局から1年半を過ぎやっとほんの少しHFの運用もしております。
設備もまだまだです。
冬季は外作業は厳しいのでまた様子見の時期になります。ゆっくりと前進して行きたいと考えております。
昨年父が他界、本年は母が大きな怪我を負い手が離せない日々となりました。
時間的にも土日 平日の夜のみ運用しています。
アマチュア無線においては明るい未来がありますように。
JM8RWB 池内 陽一 函館市

近状報告

CtestWinを利用して、全市全郡コンテストに参加しました。重複チェックで便利さに驚くとともに、気楽に使えることに感謝しているところです。

私が参加したP35部門は、電波伝搬の関係で当日深夜までと、翌日夕方から最後まで2分割の運用となります。日中はお休みですが、コンテストログは継続している必要があるため、CQ TESTのファイル保存をしました。

これが、exeテキストファイルではなく、.or8通常ファイルであったため、JARL電子ログに反映できなくなり、悩んだすえ紙にプリントした紙サマリーログとして提出しました。

後日、JARLサポートコンテストから、オリジナルファイルの提出を求められ、メール発送したところ、EXE、ファイルに変換したものをが返送され、電子サマリーログとして再提出を求められました。

元のACAGでは受付期間中期間を過ぎており受理されませんでした。サポートコンテスト宛てにメールし、無事受理されました。

ファイル操作すら自在にできない自分は時代に完全に取り残されている事実。自己嫌悪に陥っている次第です。でも、少しガンバレば追いつけるようなきもしていますので、皆さまのご指導御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、エントリー結果は34局34マルチ。CQ呼び出しには応答がなく、全て強力局への応答。10W局同士の交信はありませんでした。

JR8CSA 戸波 函館市

この原稿を書いているのは11/1現在での話ですが、4月から仕事が変わり、忙しい日々を送っております。おかげでコンテストはほぼ不参加。気づけば毎週無線ではなく二輪に乗っていました。付き合う仲間も変わり、開局している人は皆無。そんな中でも6m and downコンテストに参加し、電話部門北海道入賞してしまいました。完全にやる気無しで、居眠りやら、ラーメンを食いながらや、ラジオを聴きながら参加していたため、驚きました。

冬は何をしようか、まだ考え中ですが、趣味にハマらない事こそが、長く続けて、人間関係も良く保てて、仕事もはかどる秘訣かと思えます。なので、しばらくは何もしないで過ごそうと考えております。

村上慎吾 JM8DYK 上磯郡知内町/札幌市豊平区

「6mで」

古き良き時代の雰囲気が残っている50MHz。シーズンオフですが、遅い時間にFMでCQ出します。で宜しくお願いします。

JM8TSS 鹿島 函館市

TH-D72+MR-77SでAPRS(モバイル)運用してありますが、雨天時車に水が入るので運用中断してます。

モバイルホイップ一式は購入済みなので、雨漏り対策とアンテナグレードアップを目指してます。

de JE8BJO 高田 函館市

「移動用のリグ選び」

IC705、IC7300M、FT710Mのどれにするかをここ1年くらい悩んでいます。そうこうしているうちにTH-D75の発売が年明けに決まった。こっちを優先することになるとHF移動運用の再開はまだまだ先になりそうです。

JL8LGW 船水 函館市

7MHzアンテナ増設

2エレメントフルサイズ八木HB9CV改造(以前から設置)エレメント長21Mブーム長7.8M(標準4.8M)フロントゲインの増加でDX局より3エレメントフルサイズ八木超のシグナルレポート頂き満足しております。コンディションDXが良く入感してる時国内局が聞こえない訳では無いのですがDX局に比べ少しシグナルが落ちDX専用のアンテナとして使用しております。

以前から交流のある技術提供ご指導頂いておるミニマルチアンテナ(株)の代表(社長)より国内向けのアンテナの紹介を頂き今回増設と成りました。R-401DX 7MHzモノバンドアンテナです。エレメント長13.8M指向性綺麗な8の字ビームパタン両先端エレメント調整(バンド幅調整)同軸ケーブル10DFB使用給電部コネクタ一部FEコア2個(ノイズ除去)40dbの不要副放射の消去 RF的に接地抵抗測定第一種で8オームアンテナコート塗布全エレメントのつなぎ目ビス、タッピングビス戻り止め粘着テープビニールテープで完全防水(凍結防止)強風塩部防止対策など老骨にムチを打って何とか取付工事を終了する事が出来ました。14MHzの5エレメントフルサイズの一番高い所へ取り付け両先端エレメント垂れております。バンド内帯域幅が広いと聞いておりましたがこれ程良好とは驚いております。定在波比7.025-7.065 SWR 1.1 7.066-7.095 1.2 7.096-7.130 1.3 7.131-7.170

1.4(パード測定機器)ミニマルチアンテナ(株)は高度な技術測定機器を駆使しており設計開発された高効率を誇っております。自作のダイポールとは電波の表皮効果に差が出ており電波ののりが良好です。ミニマルチアンテナ(株)へR401DX設置後実測測定値美観含めてデータを送りました。最後にミニマルチアンテナ(株)廃業と成り 部品提供も終了致しました。ご指導頂いてありがとうございました。アンテナメカも一つ減り 寂しい限りです。2エレメントフルサイズ八木HB9CV R401DX 試験電波測定機器にて電波発射しておりますので聞こえましたらお声がけよろしくお願い致します。

コンディション国内局各エリア良く入感しております。渡島檜山支部の皆様のご活躍ご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

JA8WNR 北斗市 清水

アマチュア無線・業務無線機器専門店・防犯器具取扱店

JARL 会費受付業務代行店

有限会社

アムール
(旧 ハムセンター函館)

函館市石川町 72 番地 TEL:0138-46-6788

定休日:毎週水曜日

営業時間

10:00~19:00

日曜日は

10:00~17:00

短信

—short message—

3年半続いた函館での単身赴任が終わって早くも約1年が経ちました。函館在住中は渡島檜山支部の皆様大変お世話になりました。函館在住中はハンディ機1台で2mと430での交信がメインでしたが、ホームの札幌に戻ってからは新しいリグを複数台買い、2アマを取得し、コンテストに参加し、D-STAR、WIRES-X、C4FM、FT-8、APRSなどの新しいものにも手を出したりと、手広く(?)やっています(汗)。CWも本格的に始めたいと思っていますが……こちらはまだ練習中です(涙)。来年こそは、CWの本格運用、そして1技の取得を頑張ります(汗汗汗)。函館方面に出張等でお伺いした際には、ホテルの窓にへばりついてハンディ機でオンエアすると思いますので、その際は是非ともお相手下さい。また、札幌にお越しの際はお気軽に声をかけて下さい。皆様と“電波の大海原”でお会いできるのを楽しんでいます。勿論地上でのアイボールや、D-STARやWIRES-X等のレピーター・V o I P 経由のQSO也大歓迎です！

JL8JFX 横濱 敦史 札幌市中央区(2022/9まで函館市)

「8エリアC4FMロールコール」普段は札幌周辺を中心にを行っています、ここ数年は8月に函館に来て木地挽高原か横津岳からロールコールを行っています
お陰様で函館での開催を待ち構えて居る方も居てありがたい限りです。
この函館は430のダクトで遠距離交信のチャンスが多い地域です、ダクト発生の際には是非ともC4FMでの交信にもチャレンジしてみてください。
交信成立の際には距離表示の画面写真を添えて報告いただくとCQ誌にも掲載されるかも知れません
また、年末年始に掛けてC4FMコンテストも開催されます。
例年、ログを提出すると参加賞としてコールサイン入りステッカーをプレゼントしています。
ニューイヤーパーティーをC4FMでやると両方にエントリー出来ますのでよろしくお願い致します。
JH8CUIY 西 正則 札幌市

今年は開局6年目にして欧文モールスを覚え、開局当初にたまたま2mFMで繋がりCWの楽しさを教えてくれて、練習CDまで送って頂いた1エリアの局とCWで交信する事ができました。一度交信しただけの局でしたが、ずっとお礼の意味で「次はCWで交信」と思っていたので交信できた時は練習の苦勞もあって特別な嬉しさがありました。これからは新たな出会いと楽しみを求めて、この趣味を長く続けて行きたいと思えます。
JM8MES 三輪俊史 黒松内町

函館3年目になりました。
新たに開局する方や、再開局する方など、先細りの趣味にとって希望の星です。
私も熱くなりすぎず、程よい温度を保ってノンビリと楽しんでいます。
JK8JZQ 佐藤 函館市

老老介護の傍らでローカル各局と交信を楽しんでいるこの頃ですが、老少不定の身なのでこの辺りでまずは身の回りを整理しておこうとおもっております。若い頃は切手だコインだと走り回りましたが、歳ですれ動けなくなりました
リグやアンテナの類も、私が生きてるうちに皆さんのお役に立つようでしたら幸いです。お使いください。
近々支部長あてにリストをお送りします。但しリグなどは古い物好きの方はよいですが、OPの際は留意してくださいね。
以上 JA8EE 高杉 新弥 (タカスギ シンヤ) 函館市

渡島檜山支部の皆さんこんにちは。
青森市から投稿します。
各コンテストでお相手頂きありがとうございました。
最近NHCさんENXさんJ.U.Oさん達のご支援を受け1200Mにハマっています。
ビームアンテナを作ったので、より遠距離の局とQSO目指しています。
JA7AWM 原子 豊 青森市

札幌在住ですが船水さんのお誘いを受けまして久しぶりに参戦させて頂きます。漁船や調査船以外ではほぼ絶滅危惧の生き物となった、現任の専任船舶通信士です。最近ほぼAPRSしか出ていませんが、船舶通信の現状など興味ある方は是非、懇親会や集いの会場にてお声がけください。
JM8GQR/JF1FQR/JO4MCE/7JL 木和田 札幌市

箱館の思い出は、小学校の修学旅行(1985年)。その次の思い出は、2011年のあのとき。アマチュア無線局開局35年を迎えることができました。
JARL賛助会員、正員 JP3DOM 鈴木一樹 大阪府支部

最近の私事 JA8DHRの最近の動向です
最近は相変わらずHFのジャンク機器との格闘を楽しんでいます
昔懂っていたマシンと対面すると感激しています
ひょんなタイミングでスベアナが我が家に来ました まだ使い慣れていませんがアタック中です
でも世の中そんなに甘くなく敢え無くゴミと成るマシンも有ります
まっ調整は当然ダミーロードで行います 完成後TSS保証の手続き後 onair します
皆様も終活等でリグを処分する時は是非一言声をかけて下さい
又アンテナにも挑戦中です 長年愛用のHF水平アルミDP が最近雨が降るとSWRが 遠くへすっ飛んでいきます
この際と言うことで 一度おろしてトラップコイル部の防水処理をしました(エフコテープ使用)少しSWRのセンターがズレましたが防水の効果パッチシです VVFB
最近2MでCQを出しても応答率が悪く成った様な気がするな-- 皆さん聞こえていたら応答をお願いします
相変わらずモービルはアローライン です
by ja8dhr 甲谷 函館市

こんにちは、JA8EJKこと河原です。V・UHFは出ておりませんが、函館ローカルさんとはあまりお耳にかかることはありませんが、当局の近況についてお知らせします。
ふだん7, 14, 18, 21MHzの4バンドで運用しております。キャンバックハムも5年を過ぎ、各バンドお得意さんもでき残り少ないハムライフを楽しんでいます。五十数年前に初QSOをした方々と繋がったりすると、開局した子供の頃を思い出し感無量になります。
自宅の敷地も手狭のため長いワイヤーアンテナも立てられず、アンテナは全て単発で屋根の上に立てて運用しています。
いま50MHzのアンテナの部品集めをしています、マウント部分を屋根にいか固定するかで悩んでいるところです。来春には変更申請を出したいと思っておりますので、このバンドで運用中の方がおられましたら、お相手の程よろしくお願い致します。
de JA8EJK 河原 函館市

第5太陽周期(サイクル25)は、さほどの期待は無かったのですが10月中旬から50Mhzのオープンで南米各局が入感するのです。これで今回WAC(50MHz)完成しました。
HB9CV(2エレ)・100W OTHは標高10m足らずのロケーションです DXCCはまだ60局
De JA8EJZ 齊藤 函館市

渡島檜山支部「ハムの集い」前夜懇親会 参加者名簿

	コールサイン	名前	所属	役職等
1	JI1RKA	板橋 直樹	神奈川県支部	JARL社員
2	JH3BDB	入江 雅量	大阪府支部	JARL賛助会員
3	JP3DOM	鈴木 一樹	大阪府支部	JARL賛助会員
4	JH7BKN	木村 一秋	青森県支部	
5	JG7SAF	工藤 眞己	青森県支部	JARL青森県支部幹事
6	JA8DHR	甲谷 巖	渡島檜山支部	
7	JH8CUY	西 正則	石狩後志支部	
8	JH8HLU	正村 琢磨	十勝支部	JARL理事・北海道地方本部長
9	JR8CSA	戸波 信章	渡島檜山支部	
10	JR8GTZ	杉本 兼幸	渡島檜山支部	
11	JE8KQR	大國 秀夫	石狩後志支部	JARL社員
12	JE8RKV	太田 富士子	渡島檜山支部	
13	JK8JZQ	佐藤 佑介	渡島檜山支部	
14	JL8JUK	伊久留 智信	渡島檜山支部	
15	JL8LGW	船水 明	渡島檜山支部	
16	JM8GQR	木和田 広司	石狩後志支部	
17	JM8TSS	鹿島 勇一	渡島檜山支部	

敬称略、コールサイン順に掲載

業務無線・アマチュア無線・各種アンテナ工事

ドリーム レディオ システム

〒 040-0032 函館市新川町 22 番 5 号

営業時間 9時～18時(平日) 9時～16時(日, 祝) 定休日 不定休

電話 090-8908-2825 0138-76-1610 E-mail je8ibl@msc.ncv.ne.jp

HP <http://www.ncv.ne.jp/~je8ibl/>



第21回 津軽海峡コンテスト 結果

(2023年5月13日～14日実施)

【管内局】	★ J E 8 S B P / 7	1152	社団局マルチバンド		
個人局マルチバンド	★ J A 7 Q U N	1027	★ J A 7 Z U P / 7	1260	
★ J L 8 L G W	5084	J R 8 T I R	720	★ J E 7 Y S H / 7	162
★ J F 7 P F W	2675	(最終交信 14日13:19)			
★ J R 7 W K J	1746	J P 7 U I V	720		
★ J L 8 V T C	1656	(最終交信 14日14:45)			
★ J H 7 D X J	880	J R 8 F G Y	572		
J H 7 N M S	848	J L 8 J U K	351	【管外局】	
J H 8 C B H	686	J E 7 J X A	324	個人局マルチバンド	
J R 7 J A W	611	J M 8 R W B	273	★ J A 7 W X L / 7	640
J R 7 B V Q	310	J L 7 S F U	36		
J E 8 N T J	32	J A 7 A X P	21	個人局50MHz	
				★ J H 7 U J U	1
個人局50MHz		個人局430MHz			
★ J N 1 S C A / 7	21	★ J R 8 D A G / 8	376	個人局144MHz	
★ J M 7 G T K	10	★ J Q 7 B I U / 7	65	★ J L 7 X N P / 7	15
★ J R 8 C S A	6			★ J M 8 M U A / 8	12
★ J A 7 K H Q	2	個人局1200MHz			
		★ J A 7 A W M	88	(総参加局41局)	
個人局144MHz		★ J K 8 J Z Q	68		
★ J H 7 O Y V	2640	★ J I 7 G W D	16		
★ J A 8 D H R	1530	★ J H 8 N H C	10		
★ J M 7 A Y T / 7	1305	★ J A 8 E J Z	2		

- ★ は入賞者。
- 支部対抗戦については、得点（渡島檜山支部58点 青森県支部101点）となり、本年は青森県支部の勝利となりました。

【津軽海峡コンテストの表彰について】

9月に開催された青森県支部大会において表彰が中止されました。これは青森県支部でのコンテストログ受領に関するトラブルおよび共催コンテストにも関わらず発行者が青森県支部長単独となっていたためでした。現時点でこの経緯について青森県支部長の槻木沢氏からは連絡がありません。入賞者の皆様には大変申し訳ありませんが現時点においては渡島檜山支部においても表彰を実施できません。今後、青森・渡島檜山両支部による協議が終わるまで今しばらくお待ちください。

【開催までの出来事】

今年の2月にコンテスト規約の精査のため青森県支部長であるJR7JAW槻木沢氏へ電話連絡したところ開口一番「やめましょう」という言葉でした。私は言葉を失いました。楽しみにしている方も多いコンテストだと説明しても「青函交流もやめましょう」という返答でした。「やりたければ単独でどうぞ」との事でしたので、電話を切った後、数名の支部会員にコンテストについて意見を聞き、個人的な思いも重なり「単独開催」する覚悟をし規約の曖昧なところを修正したうえで、メールにて「渡島檜山支部単独で開催しますよ」と連絡しました。すると「止めると言い出したのは渡島檜山支部だ」などとお戯れになったメールを発信（ccに地方本部長まで入れて）するなど驚かされるばかりでした。元青森県支部長でもあります佐藤監事にご協力頂き渡島檜山支部で見直した規約の元で「両支部共催」としての開催に漕ぎつきました。

【開催後】

結果発表までは当支部担当との連絡もスムーズにできていたようですがその後連絡が途絶えました。共催のため連名で表彰を行うはずですが連絡のないまま青森県支部大会の日を迎えました。

【今後について】

青森県支部では従来は支部長担当事項だったが今後はコンテスト委員会管轄に変更すると伺っております。渡島檜山支部としては執行部一丸となって津軽海峡コンテストに取り組んでいますので、「青森県支部」の皆さんとともに継続して楽しめるコンテストとして継続して行っていきたいと考えています。

第31回 渡島檜山支部48時間コンテスト 結果

(2023年9月1日～3日実施)

【管内局】		★ JA6CVR	16	JE2KYI	1
マルチの部		★ JK1RWO	16	7K1JFM	1
★ JH8CBH	22659	JK1ESR	4	JI7VQP	1
★ JE8NTJ	460	JO1PZR	4	JA0GSG	1
★ JL8LGW	144	JA5IVG	4	JA7SLK	1
★ JA8FHM	99	JK8PBO	4	JE0HXG	1
		JA4GQD	4	JA6FOF	1
3.5MHzの部		JH0MUC	1	JR2FBM	1
★ JR8CSA	1	JA8RUZ	1	JE2OUK	1
				JH8CLC	1
7MHzの部		3.5MHzの部		JA1GTF	1
★ JR8TIR	7	★ JE2CPI	1	JM8QWL	1
★ JA8TMJ	3	★ JA8IBU	1	JH7UJU	1
144MHzの部		7MHzの部		14MHzの部	
★ JL8VTC	77	★ JS2GYN	24	★ JA2HUV	4
		★ JA4MRL	9	★ JA7ERJ	1
430MHzの部		★ JI7FBM	9	★ JE0JAO	1
★ JA8EE	10	★ JO7AYZ	8	★ JI2IWB	1
		★ JH1NXU	4		
1200MHzの部		JR5PPN	2	50MHzの部	
★ JK8JZQ	4	JH7KSU	2	★ JH6WXF	1
		JA6FXL	1		
		JA0JHQ	1	1200MHzの部	
		JA0CTW	1	★ JA7AWM	3
【管外局】		JN1KMI	1		
マルチの部		JG2CNZ	1		
★ JG1CFO	156	JA1JUR	1		
★ JR2AWS	64	JE1ENI	1		
★ JJ1JVC	25	JJ3TTH	1		

(総参加局58局)

※ 入賞者★は、本年11月19日開催予定のハムの集いにて表彰、または賞状を送付させていただきます。

参加局からのコメント (抜粋)

- ・時間が長いので24時間コンテストにしたらどうでしょう。(管内局)
- ・猛暑の候、1局だけのQSOでした。(1エリア局)
- ・初参加です、1局しか交信できず残念ですが、参加できてよかったです。(2エリア局)
- ・日程がAA-Phone とほぼ重なっているの、見直しされた方が参加者が多少は増えると思います。(2エリア局)
- ・コンディションがいまいちで、管内局をお呼びできなかった。(3エリア局)
- ・今回はコンディションが悪くなくて、各バンドで何度かRUN しましたが、なかなか交信にいたりませんでした。
(4エリア局)
- ・もっと管内局の運用を増やしてください。(8エリア管外局)
- ・参加局がなかなか聞こえなくて一局のみの交信になりました。(0エリア局)

ハムショップご紹介



代表の横山さん



ドリームレディオシステム

無線の事なら何なりと相談下さい。
皆様の力になります。再免許、増設、変更、申請、
JARL継続手続き、SWR相談など気軽にどうぞ。お
待ちしています。

〒040-0032 函館市新川町22-5
TEL：0138-76-1610
携帯電話：090-8908-2825
E-Mail：je8ibl@msc.ncv.ne.jp



代表の磯谷さん



何でも相談して下さい！じっくりお話を聞きます。
近くに来た時は用事が無くても、是非寄って行って下さい。
また、4アマ、3アマの講習会実施にも力を入れています。
お近くでアマチュア無線に興味のある方が居ましたら
是非ご相談下さい。不定期ですが開催しております。
楽しいハムライフを！

有限会社 アムール

〒041-0802 北海道函館市石川町72-2
TEL: 0138-46-6788

支部からのお知らせ

アマチュア無線局免許に関わる改正について

令和5年9月25日、免許関係を主に電波法改正が施行されました。

○再免許申請の期間が1年前から6ヵ月前に改正

・6ヵ月前から1ヵ月前まで(以前は1年前から)に変更になりました。

○無線局免許状の指定事項の周波数などの表記の改正

周波数や電波型式と空中線電力などの表示がなくなり9種類になりました。

4 アマ資格で申請 移動する局 4AM 移動しない局 4AF

3 アマ資格で申請 移動する局 3AM 移動しない局 3AF

2 アマ資格で申請 移動する局 2AM 移動しない局 2AF

1 アマ資格で申請 移動する局 1AM 移動しない局 1AF

※アマチュア業務の中継用無線局 ATR

・現在の免許状は新表記に読み替える措置になっています。

※自局の無線局免許の検索でご確認ください。

詳細は総務省 電波利用ホームページ アマチュア無線のページをご確認下さい。



編集後記

<村上>AIすごいですね。表紙は佐藤さんに撮影いただいたものに「函館 夕方 空港」といれど生成してくれました。こんな大天体の写真になるとは思いませんでした。ですがAIを利用した虚偽の動画が作成されるなど、世の中が混乱することもあります。物は使いようです。無線機も使いようです。自分の頭はどれだけ使っているかな・・・

<船水>函館では今は聞くことの出来ない中学生同士の交信。「そこに歩なんか無いぞ、さっき俺取ったから」、「4 三銀成だ!」 「傍に父さんいるな、ズルいぞ」。今はDXを少しお休みし、かつてこんな交信をしていた相手とまた毎日のように交信できる充実したVUHFライフを楽しんでいます。

<佐藤>このたびは、北海道8支部発足50周年を迎えるにあたり、支部報につきましても紙面を充実させた内容となりましたが、私は昨年と同様紙面が出来上がっていくのを指をくわえてみているだけ...

こんな時アナログ人間は役に立てませんね。と反省しつつも、肝心の無線は、今後もしばらくは声と指のアナログモードで楽しみたいと思っております。

祝 2023年 JARL 渡島檜山支部 「ハムの集い」



上級救命、普通救命講習1名よりお受けしております。
お気軽にお問い合わせ下さい。

JARL 賛助会員

JP3DOM

応急手当指導員 (釧路市消防長認定)

e-mail jp3dom@jarl.com